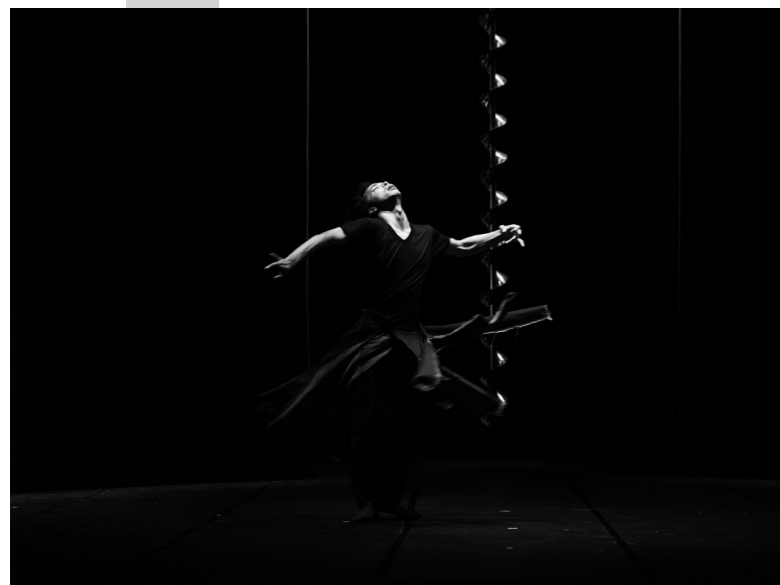


浅井信好 Nobuyoshi ASAI

「モノとカラダ」が繋がる！そこに現れる摩訶不思議な空間や形、そして体験が待っている。誰しもが持っている童心の空想力を使い切って創造しましょう。



「炎える母」Photo:高永亜紀子



「Peeping Garden/re-creation」Photo:大河博晴



月灯りの移動劇場「中高生と作るアイオーラおばさまの家」Photo:月灯りの移動劇場

プロフィール

2005年～2011年まで《山海塾》に所属。2010年ポーラ美術振興財団在外研修員でベルリンへ派遣。2011年に文化庁新進芸術家研修制度でイスラエルの《パットシェバ舞踊団》に派遣。2012年よりパリを拠点に《PIERRE MIROIR》を主宰。2016年に日本へ帰国後、《月灯りの移動劇場》を主宰するとともに、地域交流拠点《PALET.NU》のクリエイティブ・ディレクターを務める。現在、名古屋芸術大学舞台芸術領域准教授。2013年ARTE ART PRIZE LAGUNA12.13 特別賞、2014年愛知県芸術文化選奨新人賞などを受賞。

所属カンパニー 月灯りの移動劇場
 ホームページ <https://tsukiakari-theater.jp>
 連絡先(制作) 杉浦亜希
 住所 〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地 名古屋芸術大学舞台芸術領域
 電話 090-3241-0008
 E-mail tsukiakaritheater@gmail.com
 アーティスト在籍地 愛知県名古屋市
 アーティスト出身地 愛知県名古屋市



Photo:佐藤良祐

活動歴

〈2012年〉『ABSTINENT』@Theatre Cliba/テル・アビブ ＊10カ国15都市で再演
 〈2012年〉『Coup de folie』@鬼頭運輸倉庫/名古屋 ＊2カ国3都市で再演
 〈2014年〉『Betweenness-Encounter』@パリ日本文化会館/パリ ＊フランス4都市で再演
 〈2014年〉『Nomads』@Jerusalem's International Dance Week/エルサレム ＊3カ国3都市で再演
 〈2015年〉『REL』@六行会ホール/東京 ＊3カ国4都市で再演
 〈2016年〉『はてしない物語』@六行会ホール/東京 ＊国内5都市で再演
 〈2017年〉『Flying birds』@セッションハウス/東京 ＊4カ国9都市で再演
 〈2020年〉『KOKO TO SOKO』@リンナイ旧部品センター/名古屋
 〈2020年〉東アジア文化都市「詩踊る」『炎える母』@北九州芸術劇場中劇場/北九州市
 〈2021年〉「踊る秋田」『Peeping Garden/re-creation』@秋田拠点センターアルヴェ/秋田 ＊2カ国13都市で再演

受賞歴

〈2002年〉WORLD HIP-HOP CHAMPIONSHIP 1st (アメリカ)
 〈2013年〉ARTE ART PRIZE LAGUNA12.13 特別賞 (イタリア)
 〈2013年〉Festival international de dance contemporaine D'ABIDJAN 最優秀作品賞 (コートジボワール)
 〈2014年〉愛知県芸術文化選奨新人賞 (日本)
 〈2014年〉エルサレム国際振付家コンペティションファイナリスト (イスラエル)
 〈2015年〉NEXTREAM21 最優秀賞 (日本)
 〈2017年〉グッドデザイン賞 (日本)
 〈2017年〉Asian Solo&Duo Challenge for MASDANZA NDA賞 (韓国)
 〈2017年〉VIII Premios PADベスト照明デザイン賞ノミネート (スペイン)

ワークショップ歴

〈2017年10月〉「からだで絵本をえがく」小学生4年生対象 会場：豊橋市立下条小学校、豊橋市立羽根井小学校 主催：公益財団法人豊橋文化振興財団
 〈2018年8月〉「舞踏ワークショップ」ダンサー対象 会場：KAIST 主催：ARTIST NEST (韓国)
 〈2019年8月〉「舞踏ワークショップ」大学生対象 会場：東京藝術大学 主催：東京藝術大学
 〈2019年12月〉「舞踏ワークショップ」一般対象 会場：TROI C-L 主催：TROI C-L (ルクセンブルク)
 〈2020年1月～10月〉「KOKO TO SOKO」中高生対象 会場：ダンスハウス黄金4422 主催：月灯りの移動劇場
 〈2021年9月〉「舞踏ワークショップ」一般対象 会場：オンライン 主催：M1 CONTACT (シンガポール)
 〈2021年12月～2022年3月〉「パフォーマンスキッズ・トーキョー」小学5年生対象 会場：千代田区昌平小学校 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利法人 芸術家と子どもたち

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

『モノとカラダで楽しむダンス』
 小学校・中学校向けに、1000個の木製の積み木を使い、テーマに合わせて並べたり、積み上げることによって一つの空間設定を作り出す。その空間を使って、様々な動作やダンスを見つけ、各グループ小作品の発表を行う。

②福祉施設でのアウトリーチ

『動かされるダンス』
 老人福祉施設や障害者向けに、舞踏の基本エクササイズである「空っぽの器」を体験することで普段、無意識に緊張している身体と向き合うことから始まる。緊張が解れてきたら風や波のイメージによって「動かされる身体」を体験していく身体を解放するエクササイズを実施。

③ダンスや演劇などのサークルや部活

高校・大学向けに、普段の表現活動の中で疑問に思うことや悩み、上達したいことを事前のアンケートによってヒアリングをし、ダンスを通して新たなヒントを得ることができるプログラムをその都度、考えて実施する。テクニックだけを教えるのではなく、ディスカッションやグループワークを通して人や空間とのコミュニケーションからヒントを見つけていくプログラム。

◎実施条件(共通)

- ▶アシスタントの有無：1名必要
- ▶参加適正人数：10～25名程度 ※内容とスペースの大きさによって応相談
- ▶1日の実施可能回数・時間：1日最大3コマ ※1コマ45分～90分 (内容により応相談)
- ▶必要機材：iPhoneやPC等を接続できる音響プレーヤー

公募ワークショップ

①はじめての「舞踏」ワークショップ

舞踏の基本エクササイズである「空っぽの器」を体験することで普段、無意識に緊張している身体を向き合うことから始める。そのほか、意識の糸・歩行・波の発生など参加者のレベルを考慮し、プログラム実施。ワークショップを通して重力を捉えることの楽しさを体験する。

◎実施条件(共通)

- ▶アシスタントの有無：1名必要
- ▶参加適正人数：20名程度
- ▶1日の実施可能回数・時間：1日最大3コマ ※1コマ45分～90分 (内容により応相談)
- ▶必要機材：iPhoneやPC等を接続できる音響プレーヤー
- ▶対象：ダンス未経験者、老若男女参加可能

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

①『KOKO TO SOKO』

ニューヨーク近代美術館をはじめ、世界各国の美術館やギャラリーで取り扱われているスペインの木製ゲームブランド・PICO PAO (ピコパオ) が手がけた「LAS ESCALERAS / 階段」をコラボレーションによって実寸サイズの舞台美術へと転換。8本の特殊な形状をした梯子を使用し、さまざまな組み合わせによって空間をデザインしたり、具象的なモチーフを造形したりすることで、モノによる抽象性と具象

性の変化を体験。モノとの関わりによって発生する「形態変化」「形状変化」という身体性に注目して振付を展開。

▶上演時間：40～60分

- ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名)
- ▶市民参加の形態：市民参加公演 (クリエイションワークショップ参加者との協働作品)
- ▶クリエイションワークショップの参加 (出演) 人

数・回数：5～10名程度・6～10回程度

- ▶同行スタッフ：照明1名
- ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名
- ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：10m × 10m程度 (2) 床…リノリウム黒色またはグレー
- ▶その他：マイク、梯子8本 (登録アーティストが持参)

この事業で可能な公演作品

①『炎える母』

2020年に東アジア文化都市「詩踊る」@北九州芸術劇場で初演。北九州出身の詩人 宗左近著『炎える母』を題材に作家の死生観を掘り下げることで、螺旋構造に着目した舞台美術と振付によって構成された作品

- ▶上演時間：45分
- ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名)
- ▶同行スタッフ：照明1名
- ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明2名
- ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：12m × 12m (2) 床…リノリウム黒色 (3) 必要機材、舞台セット：吊りもの用のスリング ▶その他：5mの鉄製螺旋状美術：重さ50kg程度 (登録アーティストが持参)

②『Flying birds』

世界4カ国9都市で上演してきた本作は【空気の風景】という独自の表現形態によって、「視覚的に認識

することのできない流動する空気の流れを空間に表出すること」をコンセプトに新たな風景を舞台上に作り出す作品

- ▶上演時間：40分
- ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名)
- ▶同行スタッフ：照明1名
- ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名
- ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：8m × 8m (2) 床…リノリウム黒色 (3) 必要機材、舞台セット：なし

③『Peeping Garden / re-creation』

2カ国13都市で上演された本作は、世界30カ国以上の新聞やTV、雑誌等でコロナ禍における新たな鑑賞形式として注目された。独自に開発されて移動型ソーシャルディスタンス円形劇場を使い、壁によって仕切られた半個室空間の穴から内部のパフォーマンスを鑑賞する形式を用いて、観客はカメラのファインダーを覗くように能動的に鑑賞し、作

品に没入できるように設計されている。白砂の敷き詰められた空間の中で3名のダンサーが織りなす無重力空間のような踊りから、次第に石庭の庭が形成されていく作品

- ▶上演時間：50分
- ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名)
- ▶同行スタッフ：照明1名
- ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名
- ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：13m × 15m (2) 床…リノリウム黒色 (3) 必要機材、舞台セット：なし

▶その他：(1) 円形劇場、客席、音響機材、照明器材、リノリウムなど上演に必要な備品は全て登録アーティストが持参。(2) 約900kgの珪砂を円形劇場内部に敷き詰める。(登録アーティストが持参) (3) 運搬に係るトラックレンタル費は劇場側が負担。

この事業で挑戦してみたいこと

●アウトリーチやワークショップを通じて、オリジナルで製作された木製の美術やおもちゃを使い、「モノとカラダ」の関係性を思考し、新たな形や空間を作り出すことの面白さを一緒に探求するだけでなく、モノとの関わりをヒントに新しい動きを探し出していきたいです。

●市民参加作品では、地域の風景や民話などをモチーフに8本の梯子を組み合わせたシンプルな演出で、その地域ごとに新しい作品と一緒に作りたいたいです。

●公演では、抽象性に特化した作品だがどこかで見た、感じたり、想像した現象が舞台上に現れます。

私自身も幾度となく、言葉で言い表すことのできない現象や風景を目の当たりにしてきた経験が振付作品に生かされているので、作品の鑑賞を通して、観客の人達にも私たちの周りで発生する美しい景色や現象を再認識する機会を提供したいです。